



令和5.8月 398号

【つくし園】

〒791-8041

松山市北吉田町

77-34

TEL(089)951-5331

FAX(089)951-5348



## 想ひ出

看護師 関谷 五月

青い空、白い入道雲、青い海、蝉の声…8月

子供達は楽しい夏休み真っ只中(いいな) 仕事をしている私たちもお盆休み(夏季休暇)がある!

田舎を離れて40年近く経つてでしょうか…今では両親も亡くなり生家に集まることはほとんどなくなりりましたが、数年前まではお盆やお正月には皆が集まり、賑やかな時間を過ごしていました。子供の頃、お盆の三日間は地獄にいる先祖が戻ってくるとか、海で泳いではいけなとか聞かされたものです。そこで、今回改めてお盆について調べてみました。

「お盆」は、仏教における「盂蘭盆会(うらぼんえ)」を略した言葉とされています。語源は、サンスクリット語の「ウランバーナ(=逆さに吊り下げられた苦しみ)」です。盂蘭盆会は、その昔、お釈迦様のお弟子である目連尊者(もくれんそんじゃ)が、亡き母を救う話に由来しています。

目連尊者の母親は子を溺愛するあまり、周囲の不幸に無関心だったことが原因で亡くなった後、餓鬼道に落ちてしまい逆さ吊りにされ食べるもの、飲むもの、全てが火となり飢えと渇きに苦しんでいる姿を神通力を持っていた目連尊者は目にして、お釈迦様に相談し、夏の修行を終えた7月15日に僧侶達を招き、供物をささげ供養するとよいという教えを受け、それに従い供養したところその功德により母親は極楽往生を遂げたそうです。

これは仏教の伝来によって取り入れられた風習ですが、日本各地には古来から夏時期には、祖霊を祀る習慣があったともいわれています。私には神通力などありませんから亡くなった両親や先祖が霊界や先祖が霊界でどの様な生活をしているか知る由もありませんが、霊界で苦しんでいない事を祈り、今年のお盆はご先祖様にも思いを馳せながら、手をあわせたいと思います。また、つくし園にゆかりの亡くなった方々へも心の中でそっと手をあわせて…



## 8月の開園日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 11日~15日は夏季休暇を含め休園です。
- 19日土曜は開園日です。

## 8月の行事予定

- 4日(金)・・・お楽しみ会
- 7日(月)・・・誕生会
- 28日(月)・・・避難訓練
- 31日(木)・・・月末大掃除

## 迷子の小鳥

7月のある日、盛んに小鳥の鳴く声が聞こえてくることがありました。すぐ傍で鳴いているような声。園庭に出てみると、やっと成鳥の羽が生えそろったばかりのような小鳥が2羽いました。前日の大雨で巣から落ちたのかもしれませんが。

1羽はなんとか飛んで安全な場所に移動した様子ですが、もう1羽は時間が経ってもフェンスに止まってじっとしています。野鳥は触ってはいけないということで、職員たちも心配するものの「ぴー助」と仮の名前をつけ見守るのみ。「今、ぴー助どう?」「親鳥が様子見に来とるよ。」「親が近くにきたら大きい声で鳴きよるわ。」などと、活動や支援の合間に話しながら、夜になったらどうしようと心配していました。

親鳥も見に来ては飛んでいきを繰り返していた中、意を決したようにぴー助が飛びました。高く飛びきれず、バタバタと途中で物につかまったりしながらも無事に屋根の高さまで飛んでいきました。職員一同、ホッと一安心。でもなんだか寂しいような気持ちも…。

裏面にぴー助の写真を載せてみました。よろしければご覧ください。



# ・ティータイム始めました・



うだるような暑さの中、第3週は土曜開園ということで、少しお疲れ気味の利用者の方もいるご様子。と、ということで7月の第3土曜日の午後、クラブ活動の後にティータイムを設けてみました。

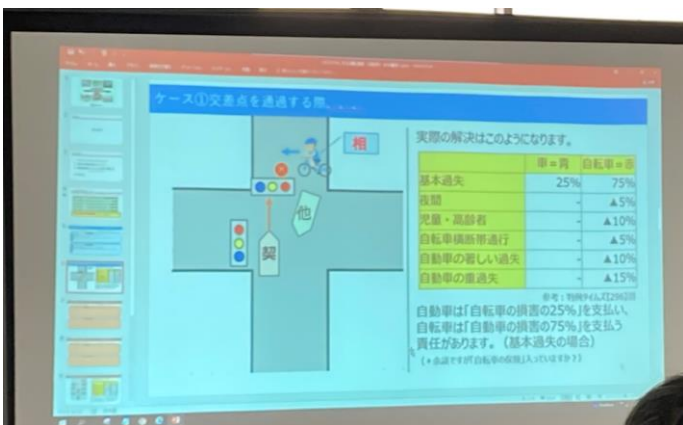
初回となる今回は小袋のスナック菓子とコーヒーやコーラ、カルピス、オレンジジュースなどから好みの飲み物を選んでもらいました。カフェミュージックをBGMにホッと一息ついていただけでしょうか。

今後も第3土曜開園日には、1週間お疲れ様の気持ちを込めてティータイムのご用意をさせていただこうと思っております。

ティータイムの費用につきましては家族会さまにご負担いただいております。ありがとうございました。



## 安全運転講習会(法人内職員研修会)



7月6日(木)の通常業務終了後、つくし園の職員は、すぎな園、つくしステップB型の職員と合同での安全運転講習会に参加しました。毎日送迎でハンドルを握っている私たちは、利用者の命をお預かりしているわけですから、常日頃から安全運転を心がけているつもりではありますが、今一度研修を通して車両運転時に注意すべきことを確認しました。

事前のアンケートにより、各自の運転の傾向を出した「ドライバーチェック」を見て自分が気を付けなければならない部分を確認したり、実際の事故の映像を見て、どうすれば防げたのかをグループで話し合ったりして、安全運転への意識を高めました。

研修にあたっては法人が加入している保険会社の『損害保険ジャパン株式会社』様から講師にお越しいただき、有意義な研修会となりました。

## 迷子の小鳥

右の写真が表面の記事の『ぴー助』です。園の周りで小鳥の鳴き声がすると、「ぴー助かな?」と、思ったりしています。すずめよりは2回りほど大きな鳥です。どなたか、この小鳥の種類がわかる方がいたら教えてください。



文責： 竹野寛・小松宴江